

1971

(昭和46年)

1月3日
長沢地区公民館落成
(木造2階建218㎡、工事費655万円)
2月19日
全国優良町として表彰
3月30日
堀内小学校実栗屋分校閉校
4月25日
町議会議員選挙、定数20名から18名へ(投票率94.34%)
5月13日
地方自治発展の功績により渡辺忠五郎氏勲五等瑞宝章受章
5月14日
堀内の富樫富士男さん、技能オリンピック木工部で県優勝、全国大会へ
6月12日
猿羽根山相撲場落成、栃桜関ら3名の力士参加
6月17日
堀内小学校新築起工式
7月
全戸に町の意識調査実施
7月19日
町民プール完成並びにオープン(長さ25m、深さ1.3m、6コース)
8月29日
名誉町民故星川礫太郎翁町葬(享年92才)
9月12日
東北・北海道民俗芸能大会に県代表として、堀内田植踊り出場
11月1日
堀内診療所開設(佐藤医師赴任)



三農協合併予備調印式



議員定数が20名→18名へ



74年の歴史を閉じた実栗屋分校



全国優良町表彰祝賀式

世界と日本

3月15日
山口県和田沖で戦艦「陸奥」の艦尾引き揚げ
6月17日
沖縄の本土復帰が確定
7月30日
全日空機と自衛隊機が盛岡上空で空中衝突、両機墜落
8月28日
西側よしみ、全米水泳で優勝
9月27日
天皇、皇后両陛下ヨーロッパご訪問の旅に出発
10月11日
横綱玉ノ海病気のため死亡
10月16日
山陽新幹線、初の試運転に成功



完成した堀内診療所

【農業】この年の稲作は出穂期の低温とイモチ病、ウンカなどの異常発生により、平年の20%の減収となった。

【選挙】18の議席をめざして激しい選挙戦を繰り広げた町議会議員選挙が4月25日に執行された。その結果、現14名、元2名、新2名の当選者が決定し、住民の代表として地方行政の自治の確立のため献身されることを約束した。有権者数5,582名で、投票率は94.34%であった。

【教育・文化】1月28日、冬期間における家庭婦人の学習と体力づくりを図ろうと軽スポーツ講習会が町内の若妻会、婦人会約120名を集めて舟形小学校で開催された。“サンサ時雨”“紅花摘唄”の舞踊を厳しい寒さの中三時間も熱心に受講し、完全にマスターした。

地域住民の実際生活に即する教育、文化に関する各種行事を行い、社会福祉の増進に寄与する場として、地元の住民の地域ぐるみの運動により、待望の長沢地区公民館が完成し、1月3日に竣工式が挙行さ

れた。

町ではマイクロバスを購入、児童生徒の送迎に活用し始める。実栗屋、西又、松橋の児童生徒はこれを利用しているが、全面的に運行計画を立て、全面的に活用された。

舟形町立堀内小学校の第1期工事の新校舎が完成し、12月の上旬より待望の新教室で勉強できるようになった。新校舎は実栗屋分校と統合されたもので、第2期工事は、鉄骨平屋建の屋内体育館が建設される。

【農協合併】米の過剰と生産調整、農業労働力の流出など、農業の当面している問題が余りにも厳しい状況にあることから、地域農業の中心的担い手となる農協が一行政区内で一本化し、町と一体化し、町と密接なつながりを持ちながら進めていってこそ地域農業の振興を円滑に推進できるものと考え、多くの話し合いをもち、相互に理解して堀内、舟形、長沢の三農協の合併予備契約が調印になった。

1972

(昭和47年)

1月13日
札幌冬期オリンピック聖火リレー通過
2月3日
山村振興地域に堀内地区認定
2月17日
澤内甚一郎氏、町長選挙無競争当選
3月25日
農業委員会委員改選(この年から定数10名に)
4月1日
新農協発足、業務開始(堀内・長沢に支所設置)
5月19日
堀内地区農集電話施設落成式(母子センター)
7月4日
名誉町民故中山金吉氏町葬
7月19日
長沢小中学校プール落成式
7月22日
福寿野児童プール落成式
8月3日
皇太子御夫妻奉迎(インターハイに来県)
8月14日
猿羽根山展望台落成式
8月17日
堀内診療所医師住宅竣工
9月12日
第二次水道事業起工式
11月2日
堀内小学校落成式(2カ年、総面積1,975㎡、総工費1億円)
11月9日
自治消防の貢献で森政秀氏勲五等瑞宝章受章
12月10日
衆議院議員選挙投票日
12月25日
(株)ウツシカワ誘致決定、本契約



猿羽根山展望台



山村振興特別調査団と語る(松橋地区)



新築された堀内小学校



無雪の冬(写真は内山地内)



野田地区開田工事起工式

【農協合併】舟形町農業協同組合が長沢、舟形、堀内三農協の合併により4月1日付をもって正式に発足、組合員1,148名の郡内4番目に大きい農協となる。

【教育文化】7月、青少年の不良化防止、余暇の善用が目的の運動公園完成、施設設備は町民プール、陸上競技用トラック、バレー・テニスコートがある。

青年研修センター及び最上広域市町村圏事務組合消防分署竣工。学校プール第1号が長沢中学校にでき、流水汚染、危険防止から一層の普及が望まれた。

【選挙】2月25日任期満了により町長選挙期日の告示を行ったが、立

候補者が澤内甚一郎氏1人となり、無投票当選となった。

【観光】第2次猿羽山観光整備事業完成。大鳥居、展望台、野外ステージ、アヤマなどが咲き、観光地として年々整備されていった。

【農業】昭和45年度から3カ年計画で総面積120ha総工費1億5,340万円で行われた富田圃場整備が完成。また、実栗屋桑園造成パイロット事業が12haにわたって完成。これで桑園は大平地区21ha、西又地区5ha、松橋地区4haとなった。

第2次簡易水道事業が2カ年計画により、堀内地区等8部落を対象に始まり、町全体の70%以上の家庭に水道が入ることになる。

1973

(昭和48年)

1月1日
青年センター完成オープン
3月1日
広域消防舟形分署開設
3月2日
消防功労により中山敬治郎氏、藍綬褒章受章
4月11日
平沢地区「山崩れ」災害で被害額4億円を超し、奥羽本線20日間不通
5月2日
猿羽根山において植樹祭
6月5日
最上由紀子「初恋」で歌手デビュー
7月20日
奥羽自動車部品工場進出調印
7月25日
在京児童招へいに東京都港区立飯倉小学校招待(32名民泊)
7月26日
奥羽本線複線化工事起工式(舟形～芦沢)
8月6日
企業誘致ウツシカワ縫製工場操業
10月16日
中央公民館地鎮祭
10月17日
第1回福祉大会並びに老人スポーツ大会(350名、舟小)
11月2日
長沢、堀内両小学校創立百年祭
11月11日
歌手最上由紀子後援会結成記念ショー(会員1,170名)
12月
当町初の消雪道路完成



当町初の鮎の養殖(内山)



消雪道路で無雪の冬



猿羽根山植樹祭



平沢地区を襲った山崩れと水害

【災害】4月11日、雪解けのために地盤がゆるみ、猿羽根山地蔵尊の裏山平沢地区で3度にわたり山が崩れ、奥羽本線のダイヤが不通となり、平常ダイヤになるまで約1ヶ月を要しました。企業誘致第1号のウツシカワ舟形工場が操業を開始し、男子型企業奥羽自動車部品工業の誘致も決定しました。「ふるさとのない子供たちにふるさとを」をキャッチフレーズに、東京都港区立飯倉小学校の児童32名を招きました。子供たちは皆民泊して田舎の空気を満喫しました。

【福祉】第1回福祉大会並びに老人スポーツ大会が350余名の参加を得て舟形小学校で行われました。日ごろ家に閉じこもりがちなおじいちゃん、おばあちゃんが素足で大ハッスル、体を動かして親睦を深めました。【消防】東京虎ノ門の日本消防会館において、中山敬治郎氏が消防庁長官より監綬褒章を受章。また前年、文化の日に洲崎の森政秀氏に勲五等瑞宝章が贈られた。両氏とも消防活動に対する長年の貢献が認められたものである。

世界と日本

3月9日
連続女性誘拐殺人犯大久保清死刑確定
3月20日
水俣病判決、患者1人最高1,800万円、総額9億3千万円
8月8日
金大中氏誘拐事件
10月21日
滋賀銀行女子行員9億円詐欺事件
10月23日
江崎玲於奈にノーベル物理学賞が贈られることが決定する
11月14日
関門橋開通
11月29日
熊本市大洋デパート火災103名死亡

1974

(昭和49年)

1月29日
役場に豪雪対策本部設置(被害総額1億1,153万円)
4月1日
町の課制6課になる(新設厚生課)
4月20日
舟形駅無人化反対町民総決起大会
5月
栃桜関引退
5月4日
長尾橋永久橋として完成(工費5,900万円)
7月
町誘致の男子型企业奥羽自動車部品工業着工
7月7日
参議院議員選挙
7月17日
重度身体障害者療護施設「光生園」着工
8月1日
集中豪雨で災害対策本部設置(被害額約11億円)
11月1日
町政施行20周年式典・舟形町中央公民館落成
11月1日
叶内安彦氏に第3号、渡辺忠五郎氏に第4号名誉町民贈る



新しく出来た舟形町中央公民館



近年にない大雪にみまわれた舟形町(舟形駅前)



新築の公民館で行われた町制施行20周年式典



軒先まで積もる雪



8月1日の集中豪雨。濁流にのみこまれる民家(長尾)



長尾地区に永久橋完成(旧吊り橋をしのぶ)



世界と日本

5月18日
インドが初の地下核実験
8月30日
三菱重工業本社で時限爆弾爆発(三菱重工爆破事件)
10月6日
宇宙戦艦ヤマト第1作放映
10月8日
佐藤栄作元首相にノーベル平和賞が贈られることが決定する
11月1日
気象庁のアメダスが運用開始
11月18日
フォード米大統領来日
12月9日
金脈問題で田中首相辞任
三木武夫内閣発足

1975

(昭和50年)

3月15日
農業委員会委員改選
4月13日
県議会議員選挙
4月27日
町議会議員選挙
5月1日
重度身体障害者療護施設
「光生園」オープン
7月
堀内小学校プール落成
8月
奥羽自動車部品工場操業開始
8月
ダイヤル式電話開通
9月7日
富長小学校創立100年祭
10月
沖の原公民館落成
10月1日
国勢調査の結果
人口8,033名
12月16日
舟形町保育所増改築竣工式
(総工費2,517万円)



特殊浴槽などで介護をする寮母（光生園）



富小創立100年祭



広報ふながた200号を迎える



近代的な公害防止設備をもつ工場（奥羽自動車部品工場）

世界と日本

1月1日
青木湖・スキーバス転落事故
3月10日
山陽新幹線・岡山駅～博多駅間
開業
4月30日
サイゴン陥落によりベトナム戦
争終結
7月19日
沖縄国際海洋博覧会開幕
9月22日
エニックス設立
11月15日
第1回主要国首脳会議がランブ
イエで開催

【光生園を開設】東北地方初の重度身体障害者療護施設「光生園」が完成しました。敷地面積約2千㎡に鉄筋コンクリート一部二階建ての建物、総事業費約3億円で建設されました。35名の職員が指導員として採用され、70名の利用者の介護をします。

【企業誘致と環境保全】㈱ウツシカワに続き、奥羽自動車部品工業㈱の誘致が実現しました。町では出稼き問題や所得向上への解決策に、また「農工一体」の施策の実現へつなぐと期待されました。しか

し、その反面、時代のすう勢は開発から環境保全へと注がれています。当町においても、緑豊かな自然と、清流小国川の保護のため、公害防止協定を奥羽自動車部品工業㈱と締結しました。富長小学校の前身である、舟形西部、南部両小学校の創立100周年を迎えました。沿革誌によると、富田小学校は明治8年、長者原小学校は翌9年に開校され昭和33年4月に統合して現在の地に移り、富長小学校となりました。

1976

(昭和51年)

2月15日
第7代町長に沼澤長吉氏就任
4月
役場機構改革
5月
舟形駅無人化反対運動
8月1日
西の又分校プール落成
8月6日
集中豪雨
(被害額14億円余)
9月13日
60年来の異常天候で冷害対
策本部設置
9月1日
消防団長に井上武彦氏
11月6日
弁当持参給食始まる
12月5日
公職選挙法改正後初の衆議
院議員選挙
12月11日
町営住宅完成
(4階建て、16世帯)
12月
実栗屋町内30戸移転完了



新町長、町内12会場で町政座談会（長沢会場にて）



舟形駅無人化反対運動



役場に設置された2つの対策本部

世界と日本

1月31日
鹿児島市で国内初の5つ子誕生
2月
ロッキード事件
3月2日
北海道道庁爆破事件
6月10日
札幌市営地下鉄東西線（琴似駅
～白石駅間）開業
9月6日
ベレンコ中尉亡命事件
9月15日
三木改造内閣発足
12月24日
福田新内閣発足

【町長選挙】二期務めた澤内甚一郎氏に120票差を付けて沼澤長吉氏が初当選しました。開票結果は沼沢長吉2,800票、沢内甚一郎2,680票、無効票11票、投票率96.20%でした。

【冷害と豪雨】8月の豪雨災害及び60年来の冷害により、町の基幹産業である農業は大きな被害を受けました。豪雨・冷害の2つの対策本部を設置するのは町の歴史上例がなく、国に天災融資法などの救援



高層町営住宅が完成

を要請しました。

【給食】町内の小中学校では11月から、将来の食糧事情等を考慮し、週2回の弁当持参による給食を開始しました。パンによる完全給食を週4回、ご飯を持参しおかずは学校で調理する弁当持参の米飯給食を週2回行いました。

1977

(昭和52年)

1月22日
齊藤好松氏、藍綬褒章受章
2月
真見祐臣氏、勲五等瑞宝章受章
3月29日
各種事業合同竣工式（舟小便所改築、西又児童プール、公営住宅、第二舟形簡易水道、建設機械格納庫、西又教員住宅）
4月30日
町体育協会設立
5月
異常天候で折衷苗代大被害
5月28日
舟形駐在所新築
6月20日
猿羽根山に新土俵場完成
7月1日
名誉町民の渡辺忠五郎氏町葬
7月
参議院議員選挙
8月2日
上長沢地区児童プール完成（500万円）
8月
第1回社会教育まつり開催
8月
町民グラウンドに夜間照明施設完成（1,600万円）
9月9日
町で初めての青年海外研修派遣事業実施（アメリカ各地に10名）
10月
県知事選挙
11月
長沢地区公民館に専従職員2名を配置
11月
舟形中学校創立30周年式典
12月
国道13号線舟形大橋完成

世界と日本

1月1日
EC、200海里水域宣言
1月4日
青酸コーラ無差別殺人事件
1月20日
アメリカでジミー・カーター大統領就任
3月13日
神戸市営地下鉄西神・山手線の新長田駅～名谷駅間が開業



社会教育祭りで行われたスポーツ少年団のキャンプファイヤー



夜空をこがすナイター野球（町民グラウンド）



新土俵完成を祝い、元十両栃桜を招いての猿羽根山相撲大会



国道13・47号の重要地点、舟形大橋完成

1978

(昭和53年)

1月15日
NHK全国夏青年の主張全国大会へ伊藤淳子さん（大平）出場
2月4日
舟形駅無人化
3月
第2期町営住宅完成（4階16世帯）
4月1日
農業委員会委員改選
4月
奥山与市郎氏、勲六等单光旭日章受章
森 重治氏、勲七等青色桐葉章受章
叶内庄五郎氏、勲五等瑞宝章受章
林 茂夫氏、勲五等瑞宝章受章
6月
「YBC6時です。舟形ナウ」放映される
7月
大平児童プール完成
8月21日
長沢小唄誕生パレード
11月1日
老人いこいの家「清流荘」完成
11月
長尾公民館竣工
第1回県青年洋上大学



大平児童プール完成に賑わう



老人いこいの家「清流荘」完成



長沢小唄パレード



堀内地区を健康管理推進地区に指定

【舟形駅】明治35年の開設以来74年間、舟形の表玄関の役割を果たしてきた舟形駅が2月4日から無人駅として再出発しました。49年から始まった反対運動は、国鉄・国・県への陳情、町民会議2回、常任委員会開催11回、特別委員会10回に達し、町始まって以来の町民一体となった大運動でした。

【青年の力】町連合青年団が議場において青年議会を開催しました。これは学習活動と町づくりに青年の意見を役立ててもらおうと実施したもので、当日は一日議員に青年団員が、答弁者には町長はじめ町職員が出席。現在の深刻な問題の解決と未来の大きな夢の実現のため、また町への理解が深まった青年議会は意義深いものでした。

世界と日本

3月1日
日本一の高層ビル（当時）サンシャイン60完成
3月16日
札幌市営地下鉄南北線延長部（麻生駅～北24条駅間）開業
5月21日
成田国際空港（成田空港）開港
6月12日
宮城県沖地震
7月30日
沖縄、交通ルールを本土と同じに変更
8月12日
日中平和友好条約調印

1979

(昭和54年)

2月11日
奥山与市郎氏に第5号名誉町民贈る
3月23日
各種事業合同竣工式（簡易水道布設事業、老人いこいの家、大平児童プール、太郎野地区亜炭鉱害復旧事業）
3月26日
林 茂夫氏に第6号名誉町民贈る
4月22日
町議会議員選挙（投票率96.67%）
7月20日
太折地区児童プール完成
7月25日
名誉町民奥山与市郎氏死去
10月11日
亀割バイパス起工式



舟中第2グラウンドで行われたスキー大会



山形テレビ局で観光開発計画を話す



野地区で行われた温泉開発ボーリング



太折地区児童プール完成

世界と日本

1月1日
アメリカ合衆国と中国が国交を回復
1月26日
三菱銀行北畠支店強盗事件
2月1日
イラン革命
2月17日
カンボジアをめぐる対立から中越戦争勃発
3月28日
スリーマイル島原発事故
6月28日
第5回主要国首脳会議東京サミット開催
10月26日
天然痘が根絶とWHOが宣言
12月24日
ソ連のアフガニスタン侵攻

【合同竣工式】3月23日、各種事業合同竣工式（簡易水道布設事業、老人いこいの家、大平児童プール、太郎野地区亜炭鉱害復旧事業）が開催されました。施設用地の確保、設計、施工とこれまでの住民、業者一体となった成果を、土地提供者、工事関係者、町議会議員らの出席のもとに祝いました。

【亀割バイパス着工】10月11日、野地内において国道47号線亀割バイパスの起工式が行われました。最上・新庄を最短経路で結ぶ交通ネットワークを形成しようとするもので、野地内より小国川を横断し、新庄市休場を経て鳥越地区の国道13号線に達する延長9.1kmのバイパスです。

1980

(昭和55年)

2月4日
記録的な豪雪で豪雪対策本部を設置
（西又分校で285cm記録）
2月17日
第8代町長に澤内甚一郎氏就任
4月1日
光生園30床増床
6月22日
衆参両議院議員選挙
8月11日
農作物異常低温対策本部設置
10月1日
国勢調査の結果、人口8,026人
11月
阿部フミエ氏、勲六等宝冠章受章
12月21日
歳末たすけ合いチャリティーショー
12月25日
猿羽根山に歴史民俗資料館完成（総工費4,000万円）



3回目となる「農業後継者研修会」に参加する中学生



記録的なドカ雪に襲われる町内



近岡代議士と共に冷害被害状況を調査する町議



長沢の叶内篤さんから譲り受けた200年前の農家住宅を解体・復元した民俗資料館

世界と日本

1月5日
ヒューレット・パカード社が同社初のパーソナルコンピュータを発表
4月1日
広島市が10番目の政令指定都市になる
4月18日
ジンバブエがイギリスより独立
6月12日
太平正芳首相が急死、内閣総辞職
8月19日
新宿西口バス放火事件
9月22日
イラン・イラク戦争勃発

【町長選挙】澤内甚一郎氏が沼澤長吉氏に521票差を付けて三度目の当選を果たしました。開票結果は澤内甚一郎3,125票、沼澤長吉2,604票、無効票26票、不受理7票、投票率97.71%でした。澤内町長は

- ①農業を基幹とする生産基盤の再編成
- ②働く場所の確保と既存企業の拡充促進
- ③公共事業の推進と各地域の環境整備
- ④教育施設等の整備拡充と福祉事業の推進を町政方針の重点に掲げました。

【異常気象】今年の異常低温気象は昭和51年の冷害よりもさらに悪く、特に松橋地区では、被害率が約9割に達しました。町では、8月に設置した「農作物異常低温対策本部」を9月には「農作物冷害対策本部」に切り替え、冷害対策にあたりました。

【中学校統合】三校統合を目標として、各地で部座座談会を開き、住民と話し合いを進めてきましたが、長沢地区の賛同が得られず、舟形中学校と堀内中学校との二校統合にとどまることになりました。このことは、九月定例議会で承認され58年4月1日の開校を目標としました。